

生産性運動
60周年

記念シンポジウム・パーティー



公益財団法人 日本生産性本部

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1

<http://www.jpc-net.jp/>

日時

2015年3月2日(月)
16時～19時30分

会場

帝国ホテル東京
本館2階「孔雀の間」

—公益財団法人 日本生産性本部の環境への取り組み—



この印刷には、環境に配慮した「水なし印刷」と「NonVOCインキ」を採用しています。印刷工場の消費電力量の一部(年間30,000kWh)はCO₂を排出しないグリーン電力を使用しています。



公益財団法人 日本生産性本部

ご挨拶

1955年に、日本生産性本部の設立によってスタートしたわが国の生産性運動は、60周年の節目を迎えました。これまで運動を推進するにあたり、産業界労使、学識をはじめ、ご支援ご協力をいただいた多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

60年前の設立趣意書には、「生産性の向上の鍵は、かかってわれわれ自身の努力と工夫如何にある。われわれは、日本経済の担い手としての責任を強く自覚し、生産性向上のために最善の努力を尽くさんとするものである」と記されております。まさに日本の経済発展に向けて国を思う心、高い志が込められており、こうした趣旨のもと、労使関係の健全化や経営者教育、マクロ領域での構造改革などに取り組んでまいりました。

現在、生産性運動が取り組むべき課題は、サービス産業の生産性向上や日本企業の国際競争力強化、働き方改革など山積しております。次世代が希望を持てる社会の実現をめざし、決意を新たに運動と事業を両輪として活動を推進してまいりますので、引き続き更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



公益財団法人 日本生産性本部
会長 茂木 友三郎

主な役員

会長	茂木 友三郎
名誉会長	牛尾 治朗
副会長	秋草 直之
副会長	小島 順彦
副会長	古賀 伸明
副会長	相原 康伸
副会長	佐々木 毅
副会長	大田 弘子
副会長	増田 寛也
理事長	松川 昌義

式次第

● 開会挨拶—— 16:00

会長 茂木 友三郎

● 第Ⅰ部 記念シンポジウム—— 16:10～17:40 「2025年を見据えた生産性運動の進路」

・ パネリスト

副会長 小島 順彦
(三菱商事 会長)

副会長 相原 康伸
(全国労働組合生産性会議 議長／
自動車総連 会長)

副会長 大田 弘子
(政策研究大学院大学 教授)

・ コーディネーター

富山 和彦
(経営共創基盤 CEO)

● 第Ⅱ部 記念パーティ—— 18:00～19:30

主催者挨拶
来賓ご挨拶
懇談

キッコーマン株式会社	取締役名誉会長 取締役会議長
ウシオ電機株式会社	代表取締役会長
富士通株式会社	顧問
三菱商事株式会社	取締役会長
日本労働組合総連合会	会長
全国労働組合生産性会議	議長
全日本自動車産業労働組合総連合会	会長
公益財団法人 明るい選挙推進協会	会長
政策研究大学院大学	教授
東京大学大学院	客員教授
日本生産性本部	

生産性運動の基本的考え方

日本生産性本部は、1955年(昭和30年)3月、「生産性向上対策に関する閣議決定」に基づき設立されました。生産性運動の推進にあたり、運動の基本的な考え方として、以下の「生産性運動3原則」を掲げました。

①
雇用の
維持拡大

②
労使の
協力と協議

③
成果の
公正な分配

この3原則は、当時の時代背景として、生産性運動の推進には労使の協力が不可欠との強い気持ちが反映されたものです。

当財団は、企業、労働組合、学識者の三者により構成されており、戦後の日本経済の自立と発展に貢献してきた生産性運動の中核組織として、産業界を中心に生産性向上と国民生活の向上に大きな役割を果たしてきました。

現在、当財団では、企業経営者、労働組合幹部、学識者をはじめ、国民各界各層の代表の皆様が、様々な分野での活動に参画いただいております。

生産性運動を支援する企業、労働組合等の会員は、全国で1万に及び、全国15の生産性機関と連携をとりながら会員の皆様のご支援いただき、生産性運動を全国で展開しております。

生産性運動の理念

生産性とは、何よりも精神の状態であり、現存するものの進歩、あるいは不断の改善をめざす精神状態である。

それは、今日は昨日よりもより良くなし得るという確信であり、さらに、明日は今日に優るという確信である。

それは、現状がいかに優れたものと思われ、事実また優れていようとも、かかる現状に対する改善の意志である。

それはまた、条件の変化に経済社会生活を不断に適應させていくことであり、新しい技術と新しい方法を応用せんとする不断の努力であり、人間の進歩に対する信念である。

【1959年3月 ヨーロッパ生産性本部ローマ会議報告書より】

生産性運動の歩み

● 1950-60年代① 日本生産性本部の創立

- 1955.3 「日本生産性本部」創立 — ①
- 1955.5 「生産性運動3原則」採択
- 1955.9 「第1次トップ・マネジメント視察団(石坂泰三団長)」派遣 — ②
- 1956.4 「生産性研究所」設立
- 1956.4 「中部・関西・九州・四国地方本部」設立
(1957 中国・東北、1960 北海道)
- 1956.7 「日本生産性新聞(現生産性新聞)」発行
- 1956.10 「日本マテリアル・ハンドリング協会」発足
- 1957.10 「日本マーケティング協会」発足
- 1957.11 「労使協議制常任委員会」設置 — ③



① 労・使・中立の三者構成のスタート。
労働側から、まず総同盟が参加。
永野本部副会長と握手する金正総同盟会長(左)



② 石坂会長(経団連会長)を団長に第1次トップ・マネジメント視察団渡米



③ 労使協議制常任委員会の開催

生産性運動の歩み

• 1950-60年代② 生産性運動の拡大・発展

- 1958.4 「コンサルタント指導者養成講座」開講
- 1958.8 「第1回トップ・マネジメント・セミナー」を
軽井沢にて開催 — ④
- 1959.3 「日本インダストリアル・エンジニアリング協会」発足
- 1959.4 「労組生産性企画実践委員会」設置
(現全国労働組合生産性会議)
- 1961.4 「アジア生産性機構(APO)」発足 — ⑤
- 1961.9 「日本消費者協会」発足
- 1963.3 「日本包装技術協会」発足
- 1965.4 「経営アカデミー」開講 — ⑥
- 1969.1 「産業別労使会議の設置」提唱



④ トップ・マネジメント・セミナーを軽井沢にて開催



⑤ アジア生産性機構(APO)のトップ・セミナーの開催



⑥ 経営アカデミーの開講式

• 1970-80年代 新たな生産性分野への広がり

- 1970.11 「日本物流管理協議会
(現日本ロジスティクスシステム協会)」発足
- 1971.5 「生産性の船」開始 — ⑦
- 1973.11 「社会経済国民会議」設立*
- 1976.5 「世界環境展」開催 — ⑧
- 1977.2 「メンタルヘルス研究委員会」設置
- 1982.4 「政治問題特別委員会」設置*
- 1983.5 「国際生産性シンポジウム」開催 — ⑨
- 1985.11 「情報化対策国民会議
(現情報化推進国民会議)」発足*
- 1989.10 「政治改革フォーラム」発足*

* 社会経済国民会議の動き・活動



⑦ 生産性の船の開始



⑧ 世界環境展'76でテープカットする美智子妃殿下



⑨ 第1回国際生産性シンポジウムで特別講演をする松下幸之助氏

生産性運動の歩み

• 1990年代～現在① 社会経済システム改革への挑戦

- 1992.4 「政治改革推進協議会（民間政治臨調）」発足*
- 1994.4 「財団法人日本生産性本部」と
「社団法人社会経済国民会議」が統合
「財団法人社会経済生産性本部」発足
- 1996.6 「日本経営品質賞」創設 — ⑩
「経営品質協議会」発足
- 2003.4 「余暇総研」設立・『レジャー白書』刊行
- 2003.7 「新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）」発足
- 2005.3 「生産性運動50周年記念式典」開催 — ⑪
- 2006.8 「ワーク・ライフ・バランス推進協議会」発足
- 2007.5 「サービス産業生産性協議会（SPRING）」発足
— ⑫
- 2007.11 「ワーク・ライフ・バランス大賞」創設 — ⑬
- 2008.9 「ワーキングウーマン・パワーアップ会議」発足
- 2009.2 「メンター・アワード（現エンパワーメント大賞）」創設

• 1990年代～現在② 生産性運動の新たな展開

- 2009.4 組織名称を財団法人日本生産性本部に変更
- 2010.3 公益財団法人に移行
- 2010.12 「わたしたち生活者のための『共通番号』
推進協議会」発足
- 2011.5 「日本創成会議」発足
- 2012.2 「日本アカデメイア」発足 — ⑭
- 2012.5 「経済成長フォーラム」発足
- 2013.10 「人と経営フォーラム」発足 — ⑮
- 2015.2 「アカデメイア・フォーラム」開催 — ⑯



⑬ ワーク・ライフ・バランス大賞の表彰式



⑩ 日本経営品質賞の表彰式



⑪ 生産性運動50周年
記念式典の開催



⑭ 日本アカデメイア
安倍総理との交流会を開催



⑮ 人と経営フォーラム
軽井沢トップ・マネジメント・
セミナーにて活動成果を発表



⑫ サービス産業生産性協議会発足記念シンポジウムの開催



⑯ アカデメイア・フォーラムの開催

日本生産性本部 歴代会長



石坂 泰三
(1955-1956)
経済団体連合会 会長



足立 正
(1956-1972)
日本商工会議所 会頭



郷司 浩平
(1972-1986)
日本生産性本部 理事長



平田 富太郎
(1986-1992)
日本社会事業大学 学長



亀井 正夫
(1992-2002)
住友電気工業 相談役



牛尾 治朗
(2003-2014)
ウシオ電機 代表取締役会長

全国生産性機関



(一社) 沖縄県生産性本部